

【自己 PR】

氏名 杉崎結愛

私はファッションデザイナーになるため、日々勉強に励んでいます。

私が服を作る上で大切にしていることは長く着られること見て着て楽しめること。変化することです。私の大元の目的は地球にやさしい服作りです。それとともに目標としてこれらを掲げています。

《長く着られること》

これは、地球にやさしい服作りという目的に向けて一番大切な目標です。

ファッションはどうしても流行に左右されやすくまだ着られるけど新しい服が欲しいなどの理由で一日の平均でトラック130台分の服が焼却、埋め立て処分されています。

その上で長く着られる服作りというのは一日でも多くお客様の手元に残りそういう機会を減らせる服をつくるということです。《見て着て楽しめること》

これは、着る人自身それからそれを見た人達のモチベーションを上げられる服を作るということです。お客さんの手に渡った時この服を手放すのが勿体無い。ずっと手元に残したい。と捨てる選択肢がなくなる服を作ることです。

《変化すること》

これは着る服がマルチウェイであることを指します。リバーシブルのように気分によって色を変えられるように、気分によってデザインを変えられる服を作ることができればこのデザインに飽きたから捨てるという選択肢をなくすことができると考え掲げました。

《SDGsについて》

これは、私が授業で考えたファッションに関する環境問題をブラッシュアップしそれに対する解決策をまとめたものです。

ファッションと環境問題

1日平均でトラック120台分 年間で45万もの服が 埋め立て、焼却処分されている	ファストファッションの裏にある 労働問題
衣服1着の製造にかかる 様々な資源の多大なコストと それに関する環境負荷	色々な素材が混合されて 製作されている衣服 ex: ファスナー、ボタン、綿

わたしの考える解決策

ペットボトルやキャップは、化学繊維と成分がほぼ同じなので化学繊維を新たに作るよりはるかにCO2の排出が少ないのです。ペットボトル7本でワイシャツ1枚作れるそうです。そこで効率的にペットボトルやキャップを集めるにはどうしたらいいかを考えました。私は、人の集まりやすく水分補給を摂る機会が多い海や山に今より多くのゴミ箱を設置することで回収ができ、SDGsの目標にもなっている海、森を綺麗にしよう。これらも一緒に解決できると思いました。

わたしの考える解決策

ファッションはほぼ発屋達上回などに委託して服を制作しています。1日10時間以上の労働を低賃金で強いられている事がほとんどです。これを解消するには、私たちが将来依頼等をするときに依頼料を多くしたり（時給が上がる）、労働する人を管理する大元に直接アプローチをし正しくお金を分配すること。1日の労働時間の規制などをする事で解決できるのではないかと思います。ただお金を多くあげれば良いと言う問題だけではなくお金を分配をする仕組みについてを解決しない限りずっと続く問題だと思います。

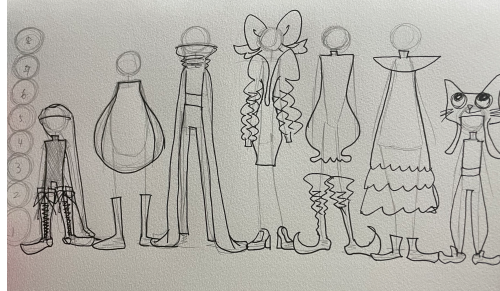
わたしの考える解決策

私はずっと考えたのは、「長く着られる服作りをする」ことです。具体的に何をやるのかというと「変化する服」を作る事です。ここでいう変化する服というのはリバーシブルや2ウェイなど1アイテムで何個も使い、着方ができる服という事です。私は、そうする事で何着も購入しなくても1着で何着もの役割を担う事ができ服を手放す機会を減らす事ができると考えました。また、変化させる事ができると着るたびにどう変化させようと思える事ができるため手放しづらい服を作れる事だと思います。私の思う解決策は捨てる服を0にする。ではなく限りなく0に近づけるというものです。

《製作物》

これは、1年生の前期で製作したワンピースです。1からデザインし型紙を作り細部までこだわった1着です。このワンピースは、きゃりーぱみゅぱみゅさんの“PONPONPON”という曲にインスピレーションを受け、コンセプトは特別な日常着です。こだわりポイントは、色とデザインです。まず色ですが、気分が沈みやすい重い色は今回避けました。非日常を味わうには日常にあまり見ない色を採用しようと思いました。

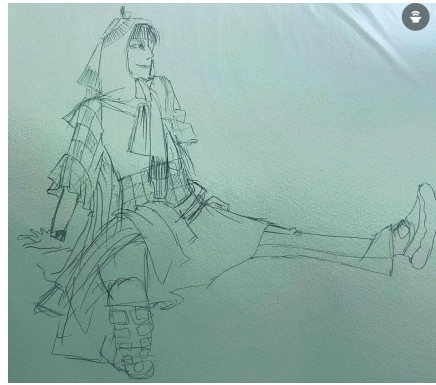
そこで、気分が明るくなり顔も明るく見えるよう白に近いパステルカラーを使用しました。デザインは、袖を肘下からガバッと空いていてボタンをとればひらひらとしました変わった雰囲気になるようにしました。つけ襟は、ワンピース本体につけず取り外しできるつけ襟にしました。他のつけ襟やアクセサリが組み合わせられたら幅が広がると思いあえてつけ襟にしました。ワンピースは、プリンセスラインを使用しました。なぜプリンセスラインを使用したのかというと多くの憧れの対象になりやすいプリンセスを日常に取り入れ非日常を味わい特別な普段着というポジションになればと思いプリンセスラインを取り入れました。



《デザイン画・デザインプラクティス》

これは私が書いたデザイン画とその練習で描いたデッサンです。

デザイン画を描くときに心がけているのは、ワクワクするデザインになる事です。「シルエットが面白い。」「見ていて楽しい。」「見て心が躍る」と思ってもらえることが一番です。自分が書いてももっとたくさん描きたくなる。着た人を想像してしあわせになるデザインであり、着た人が着るだけで心が回復したり、笑顔になりその服と共に思い出を紡げるようなデザイン位なるように書いています。



《趣味（カメラ・ディズニー）》

私は、ディズニーは作品からパークまで大好きで月に一回のペースでパークに行きます。一番見ていて楽しいのはショーやパレードなどでキャラクターの衣装が少し変わっていたり、作品の衣装が忠実に再現されているのを見ると心が躍ります!またキャストさんのそれぞれのエリア、アトラクションに合わせたコスチュームが世界観と融合していて私も作りたいと思い、日々のデザイン活動の活力になります!!

私は、ファッション意外にも趣味でカメラを触ります。右の写真は、私が撮影した写真の一部です。始めたきっかけは、思い出のページを人と共有したくカメラを始めました。自分の自己満足で撮る事が多いですが、撮るならより良いものをと心がけて撮影しています。日常のなんでもない一瞬を残したくてカメラを持って散歩に行ったり、学校にカメラを持って行って友達を撮ったりしています。私のフォルダが友達や家族、趣味で埋まっていくのを見るととても幸せな気持ちになります。以下、作品↓

